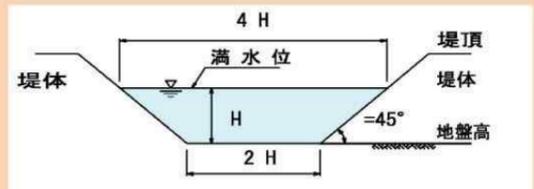


氾濫シミュレーションについて

ハザードマップ作成にあたり、ため池が一定の条件で決壊した場合、どの程度の被害範囲となるか知るために、被害想定を行ないました。  
地図上では、以下の想定される浸水範囲と深さを示しています。

- 決壊地点は、満水位と地盤高の差が大きい地点としています。
- 決壊の形状は、下図のとおり仮定し算定しています。



大災害が発生した場合、いつどのような状況でため池が決壊するかわからないため、上記の決壊条件を想定しています。

一戸建てにお住まいの方

集合住宅にお住まいの方

洪水流

図面の見方

浸水時に想定される水深	
0.5m未満の区域	(Yellow)
0.5~1.0m未満の区域	(Light Blue)
1.0~2.0m未満の区域	(Medium Blue)
2.0~5.0m未満の区域	(Dark Blue)
5.0m以上の区域	(Dark Blue)
一時避難場所	(Green house icon)
避難場所	(Green house icon)
福祉避難所	(Green house icon)
医療機関	(Green house icon)
ため池	(Pink area)
緊急輸送道路	
一次緊急輸送道路(国・公園管理)	(Green line)
緊急輸送道路(県・市管理(一次))	(Red line)
緊急輸送道路(県・市管理(二次))	(Blue line)

ため池決壊想定イメージ

- 1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水**  
... 亀裂や堤防前面の滑落など
- 2 大雨等でため池の水位低下が困難**  
... 亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など
- 3 破損した堤防が貯水に耐え切れず「決壊」**  
... 堤防破損箇所が脆くなり、水が土砂とともに一気に押し流される。

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

緊急時には、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置が行われます。

ため池ハザードマップの注意点

浸水想定区域は、一定の条件により想定しておりますので、地図に示した区域以外に浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水想定区域に入っていないからといって、安心することは出来ません。

ため池による災害の恐れがあるとわかった場合には、速やかに避難することが何よりも大切です。

問い合わせ先  
東温市農林振興課 089-964-4409

